



1982

フィン・ゾンボー [デンマーク]

1990

ジョン・クワン [アメリカ]



ガラス・光と色と

金沢卯辰山工芸工房

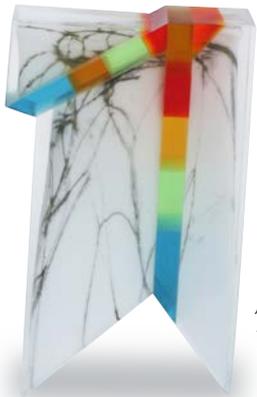
平成25年度特別展

2013.9.7 [sat] - 11.18 [mon]

金沢卯辰山工芸工房 [2F展示室]

開館時間 / 9:00~17:00 (入館は16:30まで) 休館日 / 火曜日 入館料 / 一般 300円 (20名以上団体 一人250円) / 65歳以上 200円 / 高校生以下無料

主催 / (公財) 金沢芸術創造財団 金沢卯辰山工芸工房 協力 / 公立大学法人 金沢美術工芸大学 後援 / (公財) 石川県デザインセンター・北國新聞社・北陸放送・テレビ金沢・エフエム石川・ラジオ



レナード・ヘーソング
〈ドイツ〉1985



パヴェル・フラヴァ
〈チェコスロバキア〉
1988



チャイ・ムンク
〈デンマーク〉1985



竹内 伝治
〈日本〉1987



オーサ・ブランド
〈スウェーデン〉

オイヴァトイッカ
〈フィンランド(ヌータヤルピ社)〉



オーサ・ブランド
〈スウェーデン〉



ウフ・ポールセン 〈デンマーク〉



ハンス・レーデル
〈ドイツ〉1989



スヴェン・オーケ・カールソン
〈スウェーデン〉1986



金沢では、平成2年(1990)から2年ごとに、国際的な公募展である「国際ガラス展・金沢」が開催されています。その前身となる「国際工芸デザイン交流展」(1982)と「国際ガラス工芸展」(1984)をはじめ「国際ガラス展・金沢」に出品された作品の一部は金沢市に所蔵されています。この展覧会は、それらのガラス作品の中から特に1980年代に収集された作品を中心に展示し、金沢におけるガラス工芸とガラスアートの始まりを考えるための一つの原点に目を向けてみようというものです。

古い歴史を持つ日本の文化と伝統工芸技術を保持伝承することで世界に知られる金沢では、藩政期以来、新しい文化の招来にも積極的にとりこんでいます。その金沢において、「ガラス」という新しい生活文化や産業を育てるとともに、他の工芸や産業分野に対して創造性を触発していくことも期待されたのが国際ガラス展です。そして30年が経過した今、その初期の作品からは、多くの作家に影響を与えてきたガラスの表現の可能性や、魅力的な美しさを見ることができます。多様な展開をみせるガラス作品の数々をご覧ください。

金沢卯辰山工芸工房
平成25年度特別展

ガラス・光と色と

(公財)金沢芸術創造財団

金沢卯辰山工芸工房

UTATSUYAMA CRAFT WORKSHOP
Utatsu-machi Kanazawa Ishikawa Japan

〒920-0832 金沢市卯辰町10番地 TEL076(251)7286 FAX076(251)9113

[URL] <http://www.utatsu-craft.gr.jp>



アクセス

列車 JR金沢駅下車

バス 金沢駅バスのりば90番路線、望湖台下車、徒歩7分

タクシー JR金沢駅より約10分

自動車 北陸自動車道、金沢東ICより約15分



2015年春・北陸新幹線開業